

淀川河川公園背割堤地区

背割堤ってどんなところ？

1. 木津川付け替えで生まれました！

この背割堤地区は、八幡市の北辺に位置し、府道京都守口線の御幸橋の下流、木津川と宇治川を分ける細長い堤防のことで、明治の初め、木津川の付替工事に伴ってできた宇治川右岸堤防の一部でした。明治29年から本格的な治水事業が始まり、大正6年の水害を契機とした「淀川改修増補工事」が行われ、昭和8年に完成し、現在の姿となって「背割堤」と呼ばれるようになりました。平成元年4月、「淀川河川公園背割堤地区」として開園されました。※ちなみに「背割堤」は土木用語です。

2. はじめは見事な松並木でした。

背割堤は、昭和50年代初めまで松並木で、別名「山城の橋立」とも呼ばれ、時代劇の撮影で馬が疾走する背景などに使われてきました。その松並木も害虫被害により枯れる木が多くなり、昭和53年3月、当時の建設省によって桜が植えられました。現在、248本の桜(ソメイヨシノ)の他、ハナミズキ46本があります。

背割堤の桜は全国的に見ても、最大級の背の高さ(樹高)と枝ぶり(枝幅)です。特に、隣の樹に負けずと一様に揃って成長した並木、堤防の坂の下に伸びた枝、川の流れて沿ってゆっくり曲がっていく並木の列がドラマティックな感動をもたらし、多くの人を魅了しています。

3. 生育環境がとっても良い場所です。

桜の生育にとって、背割堤は次のような点で優れた環境です。

<土の柔らかさ>

- ・通気性(踏み固められていないため、土の中に空気があり、根が呼吸でき、成長が良い)
- ・保水性(両側に大きな河川があるため、生育に必要な水に恵まれている)
- ・排水性(堤防が花崗岩系の土砂でできており、排水性が良く、根が腐らない)

<通風性の良さ>

両側を大きな川に挟まれ、上流・下流とも広々とした河川敷空間であるため、風が通りやすく、害虫などが発生しにくい。

<採光の良さ>

四方が河川であり、日光を存分に浴びている。

<生態系の多様性>

周辺も含めて野鳥や昆虫等の棲家となっていて、いろいろな生物が生息している。



3月25日(土)、
淀川河川公園背割堤地区に
「さくらであい館」がオープン。

www.yodogawa-park.jp

「淀川三川春フェスタ 2017」

淀川三川合流域さくらであい館のオープンに合わせ、淀川三川周辺の食・人・自然・歴史・音楽等々、さまざまな魅力と素晴らしい“出会い”をお届けするオープニングプログラム。

- 日時：3月25日(土)・26日(日)10:00-15:00
- 場所：淀川三川合流域さくらであい館・淀川河川公園背割堤地区
- 料金：入場無料(一部有料)

※天候などによりプログラムが変更、中止となることがあります。

- 主催：淀川三川合流域さくらであい館オープニングプログラム実行委員会

お茶の京都博の主な予定事業

京都×東京ティーパーティー

2017年5月15日(月)~21日(日)東京@丸の内ハウス

／5月20日(土)21日(日)京都@萬福寺

コンセプトを周知するため、お茶と食、トークショー等、お茶とジャンルの異なる文化が融合した新しいイベント。京都と東京で「お茶の京都博」ならではのおもてなしを展開します。

日本遺産サミット

2017年7月1日(土)・2日(日)

@けいはんなオープンイノベーションセンター KICK(精華町)

全国の50を超える日本遺産認定地域が一堂に会し、各地の日本遺産のPRを行う日本初の見本市を開催します。

メインイベント 宇治茶博@文化

2017年10月21日(土)・22日(日)@宇治市内

様々な切り口の空間やもてなしを大規模に展開。新たなお茶する生活を模索すると同時に、アートや文化、スイーツなどを楽しみながら茶文化に触れられるイベントです。

メインイベント 宇治茶博@産業・国際交流

2017年11月10日(金)・11日(土)@文化パルク城陽(城陽市)

茶産業の振興のためのプログラムを大規模に展開し、宇治茶の国内外での評価の一層の向上を図るとともに、新たなビジネスへのきっかけをつくります。国内外の茶商や茶文化を伝承する団体などが集まり、茶産業国際ビジネス交流会も実施します。

お茶の京都テイクオフパーティー

2018年3月@木津川市内

1年間の「お茶の京都博」を締めくくると同時に、取組を通じて育んだ、地域の一体感・絆を次世代につなぎます。

【その他年間スケジュール】

2017年4月

お茶の京都イーストゲートオープンフェス@道の駅お茶の京都みなみやましろ村(南山城村)／駅ナカカフェ(仮称)オープンイベント@JR笠置駅(笠置町)

5月

お茶の京都映画祭(仮称)@井手町内

10月

茶畑ビューイング2017(仮称「茶畑ハウスin和束」オープンイベント)@和束町内／お茶の京都・食の祭典(仮称)@城陽市内／カブキモノ茶宴(仮称)@久御山町内

11月

世界文化遺産シンポジウム@京田辺市内／へうケモノあーと茶宴 in みかの原(仮称)@恭仁宮跡(木津川市)

12月

マチナカ鍋フェスタ(仮称)@笠置町内

2018年3月

全国茶香大会@日本緑茶発祥の地・宇治田原町内各所／全国玉露のうまい淹れ方コンテスト@京田辺市内及び京都市内

そのほか、お茶所バス／茶いぐるライン／茶畑ハウス／茶畑アートなどを期間を通して実施します。

※2017年2月末時点の予定ですので、今後変更になる場合があります。詳細は実行委員会のHP等でお知らせします。

主催：お茶の京都博実行委員会 事務局 (TEL 075-414-4529)

お茶の京都博 HP ochahaku.kyoto

お茶の京都博 検索